

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	旧妹尾銀行林田支店 (PORT ART&DESIGN TSUYAMA)
(2) 指定管理者	所在地 苫田郡鏡野町寺元 165-5 名称 EKG合同会社 代表者 代表社員 飯網 洋平
(3) 公の施設の所管部署	津山市産業文化部文化課
(4) 指定期間	平成30年10月1日 ~ 令和3年3月31日
(5) 評価対象期間	平成31年 4月1日 ~ 平成2年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	11,571人 (前年度 6,322人)
(2) 事業の内容	○施設管理業務及び自主事業等 (自主事業の内容) 〈展示〉 絵画・染物・木工・骨董・写真・陶芸・デザイン 立体 など 〈イベント〉 定期講座・ワークショップ など 〈その他〉 コーヒースタンド・前撮り・外部出店 など ○年間稼働率 76.11% (前年度 85.82%)

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 11,554千円 (前年度 6,894千円) 利用料金収入 495千円 指定管理料 5,753千円 自主事業収入 4,887千円 その他の収入 419千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 12,201千円 (前年度 8,112千円) 主な支出 人件費 6,224千円 光熱水費 927千円 修繕・消耗品費等 1,300千円 委託料 (施設管理) 687千円 負担金・公租公課 4千円 その他 3,059千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	今年度もより深く顧客の要望を捉える質的なデータにこだわり、アンケート調査は、SNSでのコメントやご質問、また口頭での意見要望をスタッフが個別に聞き取った内容を会議で共有するという形で実施した。 それらを問題・課題抽出や業務改善の種を見つけ、またイベント企画立案の際のヒントに活用することができ、特に本館スペースの活用に関しては、お客様のご要望の聞き取りから実施までの期間が非常に短期に行え、期待や要望を早期に形にする仕組みを作るができたと感じている。
(2) 指定管理者の自己評価	令和元年度は開館初年の平成30年度に引き続き、クリエイティブ・ラボラトリー (創造的実験室) の精神を発揮し、実験的で意欲的な主催企画を自主的に行った。新しい価値を創造する具体的な取り組みとして、地域でしっかり活動を続ける作家、世に知られていないアーティスト、瑞々しい感性を持つ新人作家の発掘等を積極的に行い、芸術文化にまつわる冒険的な表現や多面的な事柄をすくい上げ、常に新鮮な企画展示を保つ努力を日々行ってきた。

	<p>同時に「津山ポート」が津山市の新たな観光拠点となるようブランディングを構築することも開館当初からの目標であった。現在、津山市内はもとより、県北の近隣自治体や県南の岡山市、倉敷市といった県内各地域、県外からも含め、多数の来場者を迎えている。毎回の展示会を楽しみに来訪するリピーターも増加傾向にあり、また、津山市民からは、この建物の素晴らしさを再発見できた喜びの声が多数届いている。地元の人々に愛される場所となり、津山の誇りを醸成することは私達の目標であるが、日々の来訪者や作家との関わりから目標に近づいている、そんな実感を得ている。</p>
(3) 市の評価	<p>利用者の意見を、交流を交えた口答での聞き取り等で行っており、それらを施設運営に反映したことがリピーターの獲得に繋がったと考えられる。平成30年10月からオープンし、初めて年間を通しての施設運営を行なった経験をもって、今後は施設の特徴を活かし、地域の活性化に繋がる事業の展開を期待する。</p>